

令和7年度

市単事業 明科潮地区 北部運動場農地復旧工事 金抜設計書

当 初
—第 一 回 変 更—
—出 来 形—

所 在 地 安曇野市明科東川手
事業主体名 安曇野市

S=1 : 5, 000



令和7年度 市単事業 明科潮地区 北部運動場農地復旧工事 特別仕様書

第1章 総則

この工事の実施に当たっては、長野県農政部制定「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）、「土木工事現場必携」、「設計変更ガイドライン」、「工事一時中止に係るガイドライン（案）」、長野県農政部制定「土木工事施工管理基準」を適用する。

共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書及び別紙1によるものとする。
なお、以下の選択項目において「■」を付したものが、選択されていることを示す。

第2章 工事内容

1 目的

この工事は、表題の事業の一環として、運動場を農地(田)に復旧するものである。

2 工事場所

閲覧設計書に記載のとおり

3 工事概要

工種	内容	単位	数量	摘要
ほ場整備工事	農地(田)復旧	ha	0.09	

4 工事数量

■ 設計書のとおりである。

□ 設計書のとおりである。ただし、次の工種等については、概算数量、概略数量である。

区分	工種、種別又は細別	内容	単位	数量	摘要
概算数量	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
概略数量	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

(注) 概算数量発注：工事発注に当たり、あらかじめ契約条件（変更条件）を明示の上、標準断面等により数量算出を行うなど標準的な設計図書で発注し、細部は設計変更によって処理する方式

概略数量発注：当初設計において、工種、種別又は細別の一部を一式計上により算出した予定価格を用いて、入れを行う方式

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gi-jukan/infra/kensetsu/gi-jutsu/gairyakusuuzyouhaccyuhousiki.html>

5 週休2日工事

本工事は、発注者指定型週休2日工事の対象工事である。「週休2日工事実施要領」に従い取り組むものとする。

(参照) 「週休2日工事実施要領」及び同要領の取扱い

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/syuukyuu2ka.html>

6 施工箇所が点在する工事の積算方法の試行工事

□ 該当

■ 非該当

(参照) 施工箇所が点在する工事の積算方法に関する試行要領

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/tenzaikouzi.html>

7 熱中症対策に資する現場管理費の補正

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。

(参照) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/heccyusyoutaisaku.html>

8 運搬費及び準備費の実績変更

- (1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち運搬費及び準備費」の次に示す経費(以下「実績変更対象経費」という。)について、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
運搬費：建設機械の運搬費 準備費：伐開・除根・除草費
- (2) 本工事における実績変更対象費の割合は、長野県公式ホームページによる。
(参照) 共通仮設費に対する実績変更対象費の割合

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/jiltusekikenkoutaishouhi.html>

- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書(以下「内訳書」という。)を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類(領収書又は金額の妥当性を証明する金額計算書)を添付して監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準に基づき算出した額」から「内訳書に記載された共通仮設費(率分)の合計額」を差し引いた後、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

9 1日未満で完了する作業の積算

- (1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算(以下「1日未満積算基準」という。)は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料(見積書、契約書、請求書等)により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (5) 災害復旧工事等で人工精算する等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。
(参照) 1日未満で完了する作業の積算について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensetsukouji-itaku.html>

10 ICT活用工事

- ☐ 本工事は、発注者指定型ICT活用工事である。
- ☐ 本工事は、施工者希望型ICT活用工事である。
- ☐ ICT活用工事に取り組む場合は、長野県農政部「ICT活用工事実施の手引き」による。
- ☐ (参照) ICT活用工事について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/ictkatayoukoujitebiki.html>

11 工事現場における遠隔臨場

- ☐ 本工事は、遠隔臨場の導入を検討する工事である。
受注者は、遠隔臨場の導入をするか否かを含め、通信環境、ウェアラブルカメラ等の機器、費用等を確認の上、工事打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。
- ☐ 本工事は、受注者の実施希望により、遠隔臨場の導入を検討する工事である。

受注者は、遠隔臨場の導入を希望する場合には、通信環境、ウェアラブルカメラ等の機器、費用等を確認の上、工事打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。

■ 本工事は、遠隔臨場の導入をしない工事である。

(参照) 工事現場等における遠隔臨場に関する試行要領について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/enkakinjo.html>

12 建設キャリアアツプシステム活用試行工事

~~本工事は、「長野県農政部建設キャリアアツプシステム活用工事試行要領」に基づく、建設キャリアアツプシステム活用試行工事である。活用を希望する場合は、工事打合せ簿により発注者と協議するものとする。~~

~~（参照）長野県農政部建設キャリアアツプシステム活用工事試行要領~~

~~<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensetsukarieriappraisystem.html>~~

第3章 施工条件

1 工期関係

(1) 工期

工期は、契約日から 156 日間とする。

なお、工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に、準備期間、休日数（土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇）、降雨・降雪等による作業不能日数及び後片付け期間を見込んでいる。

準備期間は、30 日を見込んでいる。

(2) 工程制限

☐ 有り

■ 無し

2 部分引渡し

☐ 有り

■ 無し

3 作業時間制限・超過勤務・夜間工事条件

☐ 有り

■ 無し

第4章 現場条件

1 土質

土質は、共通仕様書第 1 編第 3 章第 3 節 3－3－1 一般事項に示す砂質土を想定している。

想定と異なる土質が出現した場合は、監督員に報告し、土質試験等を含めその対策について監督員と協議を行うこと。

2 関連工事

☐ 有り

■ 無し

3 第三者に対する措置

施工に際しては、振動、騒音、安全対策に十分留意しなければならない。特に、生コンクリートや資材の搬出入に際しては、一般通行に支障を及ぼさないようにするとともに、安全管理に十分留意すること。

☐ 事業損失防止対策調査等有り

■ 事業損失防止対策調査等無し

4 関係機関との調整

受注者が工事着手前に行う地権者、関係官公署等との協議及び調整を「別紙 1」に示す。

協議の要否については事前に監督員の指示を受けるものとする。

なお、発注者が実施している協議等の状況は、次のとおりである。

☐ 有り

■ 無し

5 工事支障物件

支障物件がある場合には、細心の注意を払って施工すること。また、施工に当たっては、監督員の指示に従うとともに、市町村及び関係事業者との協議を行ってから実施すること。

☐ 有り

☒ 無し

工事の施工上必要となる架空電線の防護措置については、設計変更の対象とします。

(参照) 工事に伴う架空電線の防護措置に係る対応について (通知)

https://www.pref.nagano.lg.jp/gi-jukan/kensei/nyusatsu/sekisan/jun/document/s/tuutibun_kakusen.pdf

6 建設副産物の処理

☐ 有り

☒ 無し

(1) 建設発生土

搬出先	処分方法	特記事項
—	—	—

(2) 特定建設資材 (建設リサイクル法関係)

種別		処理場名	備考
アスファルトコンクリート塊		—	
コンクリート塊	無筋	—	
	鉄筋	—	
	二次製品	—	
建設発生木材		—	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

(3) 産業廃棄物 (建設廃棄物処理指針 (環境省) 関係)

種別	処理場名	備考
木くず (抜根・伐採材)	—	
汚泥	—	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

種別	処分条件	備考
その他 (金属くず ほか)	—	

7 土壌汚染対策法の届出

☐ 有り 届出日： 年 月 日

※行為着手は、届出日から 30 日経過後とする。

☒ 無し

適用条項

☒ 土地の形質の変更規模が 3, 000 m² 未満 (第 4 条、規則第 22 条)

☐ 土地の形質の変更規模が 3, 000 m² 以上であるが、次の 1 ～ 3 のいずれかに該当 (第 4 条、規則第 25 条)

- ☐ 1 土地の形質の変更が盛土のみ
- ☐ 2 軽易な行為 (次の I ～ III のいずれにも該当しない)
- I. 土壌の区域外への搬出

II. 土壌の飛散又は流失を伴う土地の形質の変更

III. 土地の形質の変更に係る部分の深さが 50cm 以上
- ☐ 3 非常災害のために必要な応急措置として行う行為

第 5 章 仮設

1 指定仮設

☐ 有り

☒ 無し

※指定仮設として計上する場合は、土留め、締切り、築島等で特に大規模であり、重要なものについて扱い、設計数量、設計図面、施工方法、配置などが発注者から指定されている場合である。

2 任意仮設

- 有り (標準契約約款第1条第3項に該当する事項)
□ 無し

項目	内容	制約条件	参考図の有無	特記事項
敷鉄板設置・撤去工	運動場進入口路面		無	
敷鉄板賃料	運動場進入口路面		無	供用日数 106 日を想定
工事用道路	幅員 3. 0 m	既設進入路	無	原形復旧

第6章 用地関係

1 工事用地等未処理部分

- 有り
■ 無し

2 発注者が確保している用地

- 有り
■ 無し

3 上記以外の用地

上記以外で必要な用地の借用及びこれに伴う諸手続は、受注者側で対応するものとする。
特に農地の一時転用については、事前に地域振興局農業農村支援センター、市町村、農業委員会等と調整するとともに、許可書の写しを監督員に提出すること。

第7章 工事用材料

1 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次に示すとおりであり、監督員が指示する材料については、試験成績書等を提出し、承認を得なければならない。

名称	規格	試験成績書等提出の有無
コンクリート二次製品	田排水桝 2 型	有
管類	高密度ポリエチレン管 φ 150、WU φ 125、取付式分水栓 φ 125	有
生コンクリート	18-8-25 (BB) W/C=60%以下	有
耕土及び畦畔用土	耕土、良質土	有

2 確認又は試験

主要材料に係る監督員の行う確認又は試験は、次のとおりである。

項目	内容	摘要
耕土及び畦畔用土	搬入土の確認	

※受注者及び監督員が行うコンクリート二次製品受入れに伴う検査等については、長野県農政部制定「コンクリート二次製品検査技術基準」によるものとする。

3 県産木材

工事に使用する木材は、原則として県産木材を使用することとする。施工計画書提出時に、県産木材の素材供給段階における長野県産土木用材産地証明書発行基準に基づく産地証明書により監督員の確認を受けること。また、しゅん工書類に産地証明書を添付すること。

(参照) 長野県工事関係書類 (図書、帳票、様式) ダウンロード一覧

https://www.pref.nagano.lg.jp/gi-jukan/20141201kansoka/20141201kansoka_yousi-ki.html

供給困難等の理由により、県産木材を使用できない場合は、別途協議とする。

4 県内産資材

県内企業の振興や地域経済の活性化を図る観点から、工事材料の選定に当たっては、県内産資材で規格・品質等を満たす材料を優先使用する取組を推進するものとする。

- (1) 県内産資材を優先使用に努めること。
- (2) 工事用資材の調達を極力県内取扱い業者から購入すること。
- (3) 県外産資材を使用する場合は、「県外産資材使用報告書」を監督員に提出すること。報告が必要な資材は、「生コン」、「砕石」、「加熱アスファルト合材」、「コンクリート二次製品」に限定する。

(参照) 長野県工事関係書類 (図書、帳票、様式) ダウンロード一覧

https://www.pref.nagano.lg.jp/gi/jukan/20141201kansoka/20141201kansoka_yousiki.html

第8章 環境との調和への配慮

1 環境配慮事項

- (1) 工事の実施に当たっては、長野県公共事業等環境配慮推進要綱別表第4、第5に掲げる環境配慮指針に基づき、環境との調和に配慮すること。

(参照) 長野県公共事業等環境配慮制度

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kurashi/kankyo/ekyohyoka/hairoy/index.html>

- (2) 特に配慮すべき内容は次表のとおりとし、この中で、実施困難若しくは変更が必要な場合、又はこれ以外で工事に反映可能な項目がある場合は、監督員と協議すること。

☐ 有り

☒ 無し

- (3) 受注者は、具体的な実施内容、方法を施工計画書に含めて監督員に提出するものとする。

- (4) 受注者は、工事完成時に環境配慮の実施内容を「環境配慮実施報告書」にまとめ提出するものとする。

(参照) 農業農村整備事業における環境配慮の運用

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kankyo/hairyouunyou.html>

2 環境に配慮した材料の利用促進

工事には、木材、自然石、現存する植生等環境に配慮した材料の利用を促進する。

このうち木材については県産材を優先使用し、丸太材及び太鼓材については原則として間伐材を使用する。なお、しゅん工検査時に県産材の証明書で確認することとする。

3 信州リサイクル製品の利用促進

工事材料として、認定リサイクル資材を積極的に利用すること。

(参照) 信州リサイクル製品認定制度

<http://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/ninte/index.html>

なお、利用に当たっては、事前に監督員と協議すること。

第9章 土コンクリート品質確保のための「テストハンマーによる強度推定調査及びびびり割れ調査」

「コンクリート品質管理・土コンクリート構造物品質確保特別仕様書」以外に調査を必要とする構造物は、次のとおりである。

なお、調査費用については、共通仮設費（技術管理費）に率計上している。

☐ 有り

☒ 無し

(参照) コンクリート品質管理・土コンクリート構造物品質確保特別仕様書

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/conhinshi.html>

第10章 施工

1 一般事項

水準点は、図面に示すBM(T1 KBM513.00m)を使用すること。

耕土及び畦畔土から竹及び葦類の根と拳大以上の石礫を丁寧に除去して使用すること。

2 安全対策

(1) 交通管理

ア 交通誘導警備員

本工事における交通誘導警備員は次のとおり。

- ☐ 有り
☒ 無し

- ・ 近接工事等で交通量が著しく増減した場合、道路管理者・警察署等からの要請、現場条件に著しい変更が生じた場合及び当初設計で予定している施工方法に対して違う方法となった場合を除き、原則として設計変更の対象としない。
- ・ 受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受注者は、警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。
- ・ 指定路線においては、長野県公安委員会告示第70号（令和2年10月1日）により交通誘導警備業務を行う場所ごとに、一人以上の1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員を配置し実施すること。

イ 交通安全施設

- ・ 仮設ヤード周りは、パネルフェンス等を単管等で固定し、公衆の安全対策を講じること。
- ・ 車道部分に接し、車両等が飛び込みのおそれがある場合は、ガードレール、視線誘導板、回転灯等を設置するとともに、特に夜間の安全対策に配慮すること。

ウ 交通規制

- ・ 規制箇所は、袋小路にならないように計画し、規制期間を極力短くすること。また、行事等の時期を把握して、地元の希望に沿う規制方法とする。

(2) 安全施設

現場出入口の管理は、伸縮ゲート等を用い、施設が可能な構造とすること。

(3) 掘削法面

「斜面崩壊による労働災害防止対策に関するガイドライン」等により、必要な対策を講じること。

(4) 土石流対策・急傾斜地崩壊対策・地すべり対策・雪崩対策等

ア 一般事項

- ・ 現場状況、工事内容を踏まえた安全対策を検討し、施工計画書で避難訓練、避難場所・経路等を含めた警戒避難体制及び安全対策を協議、実施すること。
- ・ 斜面崩壊、有毒ガス・酸素欠乏等の対策として、次表の設備（各種センサー類及び換気設備等）を安全費に計上している。なお、現地に即すための仕様変更やそのほかに設置が必要となる設備の費用は、協議の上、設計変更の対象とする。

各種センサー類及び換気設備等	設置場所	設置期間	備考
—	—	—	—

イ 土石流対策

土石流危険河川内工事については、平成10年3月23日付け基発第120号「土石流による労働災害防止のためのガイドラインの策定について」に基づき、工事内容を踏まえた安全対策等を検討し、施工計画書に記入すること。安全対策に別途必要となる費用は、設計変更の対象とする。

ウ 降積雪期の建設工事における安全確保

工事期間が冬期間の施工である現場においては、降積雪期であるため、雪崩、土石流の発生が予想される。そのため、次の事項に留意する等、工事の安全対策を検討し、施工計画書に記入すること。

- ・ 雪崩、土石流等に対する安全対策の点検
- ・ 積雪深、融雪量、気温等の観測及び大雪、雪崩注意報等の気象情報の把握
- ・ 作業着手前、作業中の安全対策
- ・ 気象変化時におけるパトロールの実施、必要に応じた見張員の配置
- ・ 警戒避難雨量基準等に基づく工事中止の徹底

(5) 足場工

建設工事の足場については、原則として平成 21 年 3 月 2 日付け厚生労働省令第 23 号にて厚生労働省から公布された「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」による、手すり先行工法を採用するものとする。

(参考) 手すり先行工法等に関するガイドライン

<http://www.jaish.gr.jp/horei/hor1-50/hor1-50-15-1-3.html>

(参照) 関連通達等

- ・労働安全衛生規則の一部を改正する省令（令和 5 年厚生労働省令第 22 号）
- ・足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱（平成 27 年 5 月 20 日付け基安発 0520 第 1 号）
- ・足場の設置が困難な屋根上作業等における墜落防止のための作業標準マニュアル（平成 26 年 3 月 10 日付け基安安発 0310 第 1 号）

(6) 架空線等上空施設一般

- ア 工事現場における架空線等上空施設について、施工に先立ち、現地調査を実施し、種類、位置（場所、高さ等）及び管理者を確認すること。
- イ 建設機械のブーム等により接触・切断の可能性があると考えられる場合は、必要に応じて次の保安措置を行うこと。また、実施内容について、施工計画書に記入すること。
- (ア) 架空線等上空施設への防護カバーの設置
- (イ) 工事現場の出入り口等における高さ制限措置の設置
- (ウ) 架空線等上空施設の位置を明示する看板等の設置
- (エ) 建設機械のブーム等の旋回・立入禁止区域等の設定
- ウ イの(ア)の設置を架空線等管理者に依頼し、事業区域外等において費用が生じる場合は、あらかじめ監督員に現場状況等の確認を請求すること。確認の結果、必要と認められる場合は、設計変更の対象とする。

3 施工段階における監督員の確認

共通仕様書以外の段階確認は、次に掲げる工種及び施工段階において実施するものとする。

工種	確認内容	確認時期・頻度	備考
基盤造成、表土整地	基準高・均平度	丁張設置後、基盤造成後、表土整地後	
畦畔	位置、幅、高さ	丁張設置後、畦畔築立後	

第 11 章 建設業法等における技術者制度

技術者等の配置に変更が生じる場合は、建設業法における技術者制度及び長野県建設部施行「建設工事の技術者の専任に係る取扱いについて」によること。

(参照) 建設工事等の現場代理人の兼任について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gi/ukan/kensei/nyusatsu/kokyokoji/bukyoku/dairi/nin-kennu.html>

第 12 章 ワンデーレスボンス

「ワンデーレスボンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するなど、工事現場において発生する諸問題に対し、迅速な対応を実現することである。

受注者は、発注者のワンデーレスボンスの取組に対し、情報共有化のための協議書類の電子化や施工協議経緯表の共有化、施工状況報告を電子媒体で行うなど実施可能な範囲で発注者に協力しなければならぬ。

なお、監督員が即日回答できない場合は、回答が必要な期限を発注者と受注者とで協議の上、回答期限を設けるなど「現場を待たせない」を念頭に工事に従事しなければならない。

第 13 章 契約書第 18 条（条件変更等）の補足説明

施工に当たり、自然的若しくは人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、又は、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 土質
- 転石の出現
- 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現
- 残土捨て場位置
- 工事数量（概算数量発注・概略数量発注のため）

第14章 下請負人契約

1 施工体制に関する事項

受注者は、適切な施工体制を確保し、下請負人を含む工事全体を把握して運営を行うこと。
特に社会保険への加入については、建設業の人材確保において重要な事項であることを踏まえ、
自社はもとより、すべての下請について加入状況の確認を行うこと。

2 施工体制に係る工事書類等

- (1) 「施工体系図」
 - (2) 「施工体制台帳」（「再下請通知書」は、下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成するが、監督員等の求めに応じて提示するものとする。）
 - (3) 下請契約書、再下請け契約書の「写」（下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成）
- 3 下請契約（施工体制台帳に記載を求める契約をいう）における県内企業の採用**
県内企業の振興や地域経済の活性化を図る観点から、受注者は、下請契約を締結する場合には、当該契約先として県内企業を優先的に採用するよう努めるものとする。なお、県内企業とは、県内に本社・本店（みなし本店を含む。）を置く建設企業者をいう。

4 施工体制台帳作成などの取扱い

工事書類における施工体制台帳作成などの取扱いは、「建設工事における施工体制台帳作成などの取扱いについて（通知）」による。

（参照）長野県電子入札システムスタートページ

https://www.pref.nagano.lg.jp/gi_jukan/kensei/nyusatsu/kokyokoji/denshi/nyusatsu/

第15章 創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

（参照）長野県工事関係書類（図書、帳票、様式）ダウンロード一覧

https://www.pref.nagano.lg.jp/gi_jukan/20141201kansoka/20141201kansoka_yousiki.html

第16章 現場環境改善費

- 有り
- 無し

- (1) 現場環境改善費の内容は、次のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し、合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施項目数及び実施内容を変更してもよい。詳細については、監督員と協議する。
- (2) 次に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督員に提出するものとする。
- (3) 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。対策を実施する場合は(1)及び(2)同様に、現場着手前までに受発注者協議により決定するものとする。
- (4) 受注者は、工事完成時に、現場環境改善費の実施状況がわかる写真を監督員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容 (率計上分)
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
Ass 営繕関係	①現場事務所の快適化 (女性用更衣室、快適トイレの設置を含む) ②労働者宿舍の快適化 ③デザインボックス (交通誘導警備員待機室) ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ (電光式標識等) ②盗難防止対策 (警報器等) ③避暑 (熱中症予防) ・防寒対策
地域連携	①地域対策費 (農家との調整、地域行事等の経費を含む) ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表 ⑤デザイン工事看板 (各工事PR看板含む) ⑥見学会等の開催 (イベント等の実施含む) ⑦見学所 (インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 ⑧ペンフレット・工法説明ビデオ ⑨社会貢献

(参照) 工事における現場環境改善費の積算要領
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/r4genbakankyoukaizenhi.html>

第17章 国土地盤情報データベース検定費

☐ 有り
☒ 無し
(1) 受注者は、一般財団法人国土地盤情報センターの検定を受けた上で、「国土地盤情報データベース」に登録すること。

(2) 受注者は、一般財団法人国土地盤情報センターから受領した検定証明書 (PDF) を電子納品の BORING/OTHERS へ格納することをもって、提出する成果が検定済であることを報告すること。
(3) 受注者は、地盤情報の公開の可否について事前協議すること。
(参照) 長野県農政部地盤情報 (ポータル) シング柱状図等) 取扱要領 (令和6年11月1日適用)
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensetsukouji-itaku.html>

第18章 数量算出方法

共通仕様書に記載のない数量算出方法については、次のとおりである。
☐ 有り
☒ 無し

第19章 履行報告 (週間工程表)

受注者は、履行報告書 (週間工程表) を提出するものとする。

第20章 予想出来形数量の提出

受注者は、遅くとも工期の1ヶ月前までに予想出来形数量を取りまとめ監督員に提出すること。
なお、数量算出方法については、第18章によるものとする。

第21章 100%出来形図

受注者は、次に記載のある図面については、省略してもよいものとする。

- ☐ 有り
☒ 無し

第22章 再生資源利用計画書等

提出様式は、原則としてCOBRISを利用して作成すること。これにより難しい場合は、監督員との協議により、「建設リサイクル報告様式 (EXCEL)」によることも可能とする。
作成が必要な工事は、次表のとおりとする。

再生資源利用計画 (実施) 書	再生資源利用促進計画 (実施) 書
次のいずれか1つでも満たす建設資材を搬入する工事	次のいずれか1つでも満たす指定副産物を搬出する工事
1 土砂・・・・・・・・・・ 500m ³ 以上	1 土砂・・・・・・・・・・ 500m ³ 以上
2 砕石・・・・・・・・・・ 500 t以上	2 コングリート塊
3 加熱アスファルト混合物・・ 200 t以上	アスファルト・コンクリート塊
	建設発生木材

(参照) COBRIS

<http://www.recycle.jaic.or.jp/>

建設リサイクル報告様式 (EXCEL)

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_030601

[01credas1top.htm](http://credas1top.htm)

なお、発注者から貸与されるリサイクル計画書は、次のとおりである。

- ☐ 有り (別紙「リサイクル計画書 (積算段階)」のとおり)
☒ 無し

第23章 指導事項

この工事における指導事項は、次のとおりである。

- (1) セメント等を地盤改良材に使用する場合の措置

セメント及びセメント系固化材を使用する際には、六価クロム溶出試験及びタンクリーチング試験を行い、自然環境等に悪影響を及ぼすことのないように適正に処理を行うこと。

なお、試験方法、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領」によるものとする。

- (2) 不正軽油撲滅対策

軽油を燃料とする車両及び建設機械には、ガソリンスタンド等で販売されている適正な軽油を使用すること。

県庁税務課及び各県税事務所が行う燃料の抜き調査等に協力すること。

第24章 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は、法定外の労働災害保険に付さなければならない。

法定外の労災保険への付保状況について、受注者は、保険契約の証券又はこれに代わるものにより監督員の確認を受けなければならない。

第25章 積算条件

1 価格積算基準

本工事で適用している価格積算基準は、次のとおりである。

- (1) 農林水産省 土地改良工事積算基準 令和6年度による。

(参照) 長野県の農業農村整備事業における基準

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensetsukouji-itaku.html>

(参照) 施工ページ型積算方式について

https://www.maf.go.jp/j/housin/seko/unit_price/

(2) 上記以外の積算基準は、長野県建設部（国土交通省）の施工パッケージ型積算方式標準単価表を準用している。

2 適用歩掛

本工事で適用している歩掛等は、次のとおりである。

農林水産省 土地改良工事積算基準 令和6年度

なお、上記以外の歩掛は、長野県建設部及び林務部の歩掛を準用している。

(注) 建設部の歩掛を使用している際には、次の点に留意すること。

建設部の歩掛を農政部で使用する際には、「数量算出要領の1－5歩掛単価表等の単位及び數位」により、數位を修正して使用している。

(例) 建設部歩掛 普通作業員 0.506人 → 農政部歩掛 普通作業員 0.51人

3 特殊積算条件の有無

☐ 有り

☒ 無し

4 資材単価等

(1) 本工事に係る工事費の積算に当たっては、長野県が適宜調査している部局別単価や、積算資料（一般財団法人経済調査会）及び建設物価（一般財団法人建設物価調査会）などに設定されている刊行物単価などにより予定価格を算出している。

なお、長野県が設定している単価等は、長野県ホームページ等において閲覧できる。

(2) 刊行物単価の決定方法については、長野県公式ホームページ掲載の『「物価資料掲載単価」決定方法』による。

(参照) 「長野県建設工事等設計単価」・「工事等に適用する積算基準」の公表について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gi.jukan/kensei/nyusatsu/seki sanki jun/seketanka.html>

(3) 見積りによる単価等の有無は、次のとおりである。

☒ 有り (別紙「見積り単価一覧表」のとおり)

☐ 無し

第26章 情報共有システム

本工事における情報共有システムの適用については、「情報共有システム実施要領」等による。

(参照) 長野県における CALS/EC の取組

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gi.jukan/kensei/nyusatsu/cals/torikumi/index.html>

第27章 電子納品

本工事における電子納品の適用については、「電子納品に係る実施要領」等による。

(参照) 長野県における CALS/EC の取組

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gi.jukan/kensei/nyusatsu/cals/torikumi/index.html>

第28章 「工事施工三者協議」の開催

☐ 該当

☒ 非該当

本工事は、請負者、設計者（コンサルタント等）及び発注者が各種情報を共有し、設計意図の伝達を行うための「工事施工三者協議」の対象工事である。

請負者は、工事着手前に設計図書の写真等を実施するとともに、その結果を発注者に報告し、「工事施工三者協議」に参加すること。

第29章 工事書類

工事書類作成は、原則として「工事書類簡素化ガイドライン」による。

(参照) 工事書類簡素化ガイドライン

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kojisyoruikansoka.html>

第30章 「ウイークリースタンス」の取組

本工事は、「ウイークリースタンス実施要領」に基づきウイークリースタンスを実施する。
取組内容については、施工計画書に記入すること。

(参照) ウイークリースタンス実施要領

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/week.html>

第31章 工期及び請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知

建設業法 (昭和24年法律第100号) 第20条の2第2項の規定により、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定から請負契約を締結するまでに、発注機関の長に対して、その旨を当該事象の状況の把握のため必要な情報と併せて通知すること。

(参照) 建設工事受注希望型様式集

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gi/jukan/kensei/nyusatsu/kokyokoji/iuchu/kibogata/koji.html>

第32章 適用図書及び参考図書

図書名	長野県農政部 適用年月	発行元、監修元等 及び問合せ先
土木工事共通仕様書	令和6年10月	長野県農政部 (農地整備課)
土木工事施工管理基準	令和6年10月	長野県農政部 (農地整備課)
土地改良工事数量算出要領	令和6年10月	長野県農政部 (農地整備課)
土木工事現場必携	令和6年10月	長野県建設部
設計変更ガイドライン	令和5年2月	長野県環境部、農政部、 林務部、建設部
工事一時中止に係るガイドライン	令和4年10月	長野県農政部 (農地整備課)
土木工事施工管理基準の手引き	令和4年3月	農林水産省農村振興局
施設機械工事等共通仕様書	令和6年10月	長野県農政部 (農地整備課)
施設機械工事等施工管理基準	令和4年10月	農林水産省農村振興局
ICT活用工事実施の手引き	令和6年10月	長野県農政部 (農地整備課)

なお、発刊を行っていない図書等は、長野県公式ホームページからコピーし入手できる。
次の図書は、ホームページからダウンロード可能。

- ・ 共通仕様書
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensei/nyusatsu/seki sanki jun/kensetsu.html>
- ・ 施工管理基準
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/dobokukanrikijyun.html>
- ・ 土木工事現場必携
<https://www.pref.nagano.lg.jp/gi/jukan/infra/kensetsu/gi-jutsu/genbahikiei.html>
- ・ 設計変更ガイドライン
<https://www.pref.nagano.lg.jp/gi/jukan/infra/kensetsu/gi-jutsu/sekkeihenken-guideline.html>
- ・ 工事一時中止に係るガイドライン
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/koujiichi/jicyushi.html>

第33章 しゅん工検査

本工事のしゅん工検査は、検査補助員を配する検査又は複数日検査となる場合がある。

第34章 定めなき事項

この仕様書に定めのない事項又はこの工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督員と協議すること。

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	上記と同様	上記と同様
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工資金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地 所有者又は管理 者及び工事影響 範囲の利害関係 者など	農地については、 工事の進捗及び営 農上支障になるこ との調整。その他 利害関係者との調 整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所 など	駐車場、案内看板 などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事への影響確 認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調 整。また、本工事 事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様

関係官公庁	本工事に係るこ と	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応 すること。	関係機関指導のもと	苦情については、即対 応のこと。要望につい ては、監督員と協議の うえ対応すること。

上記協議の要否については受発注者間で確認し決定する。

資材単価決定調書 【 見積り単価 】

明科潮地区

番号	名称	規格	単位	決定価格（数量）	備考
1	建設発生土	引取料	m3	1,900	松本平砂利事業協同組合
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	50 1 1 中信（2） 07. 07. 01		
	当 世 代		前 世 代
前払率（%） 消費税率（%） 工種 契約保証方法 施工地域区分 週休2日補正	40 10 % 01 ほ場整備工事 01 金銭的保証 05 一般交通影響有り(2)-2 07 月単位		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0002

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						
ほ場整備工						
整地工						
テニスコート撤去工						
			式			
掘削 土砂 5,000m3未満 オープンカット						00
	188	m 3				施工 第0 -0002号表
運搬（特殊） ダンプトラック：D I D無し 土砂：4 t 積級ダンプ 運搬距離5．0 k m以下						00
	188	m 3				施工 第0 -0003号表
＊産業廃棄物処分費＊						
残土処分費 掘削土						
	188	m 3				
農地復旧工						
			式			

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水田ほ場整備雑物除去 既耕地 (5.0m ³ /ha程度)					00
	0.09	h a			施工 第0 -0005号表
石礫除去工 ∴4 (m ³ /10a) 未満					00
	0.09	h a			施工 第0 -0006号表
ほ場整備工 (0.3ha未満BH施工 基盤・畦畔) 基盤整地 平均区画0.09ha					00
	0.09	h a			施工 第0 -0008号表
積込 (ルーズ) 土砂 土量50,000m ³ 未満					00
	210	m ³			施工 第0 -0010号表
運搬 (特殊) ダンプトラック : D I D 無し 土砂 ∴4 t 積級ダンプ 運搬距離19.0km以下					00
	210	m ³			施工 第0 -0011号表
ほ場整備工 (0.3ha未満BH施工 表土扱い) 表土整地 表土扱い厚0cm					00
	0.08	h a			施工 第0 -0012号表
盛土 まき出し 粘性土・礫質土 締固めあり コンパクタ (I)					00
	45	m ³			施工 第0 -0013号表
積込 (ルーズ) 土砂 土量50,000m ³ 未満					00
	50	m ³			施工 第0 -0010号表
運搬 (特殊) ダンプトラック : D I D 無し 土砂 ∴4 t 積級ダンプ 運搬距離19.0km以下					00
	50	m ³			施工 第0 -0011号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込（ルーズ） 土砂 土量50,000m3未満						00
	50	m 3				施工 第0 -0010号表
畦畔整形工						00
	100	m 2				施工 第0 -0014号表
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 110mm以上128mm未満 50mm以上200mm未満						00
	1	孔				施工 第0 -0016号表
取付式分水栓 A－ 1 2 5						00
	1	個				
硬質ポリ塩化ビニル管（V U）布設 薄肉管V U 直管（両差し口）4． 0 m 1 2 5 m m管 人力						00
	0.8	m				施工 第0 -0017号表
コンクリート 小型構造物 一般養生 小型車割増あり 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 18-8-25(W/C=60%以下) 高炉（B B）						00
	0.02	m 3				施工 第0 -0018号表
型枠 一般型枠 小型構造物						00
	0.2	m 2				施工 第0 -0019号表
田排水桝設置 2型						
	1	箇所				科目 第0001号表
田排水管設置						00
	0.8	m				施工 第0 -0020号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工						
任意仮設工						
			式			
仮設道路工						
			式			
敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去∴供用１０６日 ∴使用回数１回						00
	9	m 2				施工 第0 -0021号表
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊						
運搬費						
輸送費（敷鉄板） 往復計上 片道輸送距離２０kmまで 製品長12m以内						00
	1.6	t				施工 第0 -0023号表
＊ ＊ 共通仮設 費率分 ＊ ＊						
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊						

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0006

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊						
＊ 現場管理費 ＊						
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊						
＊ 一般管理費 等 ＊						
(参考) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額						
＊ ＊ 工事価格計 ＊ ＊						
＊ ＊ 消費税等 相当額計 ＊ ＊						
＊ ＊ 工事費計 ＊ ＊						

施 工 内 訳 表

頁0-0008

コンクリート分水槽

施工 第0 -0001号表

据付

50kg以上80kg以下

1

基 当り

機械構成比： 18.10% 労務構成比： 78.09% 材料構成比： 3.81% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ〔クローラ型・クレーン付〕賃料 ～排ガス3次∴山積0. 2 8 m 3	17.08%	日		バックホウ〔クローラ型・クレーン付〕賃料		
特殊運転手	62.24%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	6.89%	人		普通作業員		
土木一般世話役	3.70%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	0.85%	人		特殊作業員		
軽油	3.60%	L		軽油 パトロール給油		

施 工 内 訳 表

頁0-0009

コンクリート分水槽

施工 第0 -0001号表

据付 50kg以上80kg以下 1 基 当り
機械構成比： 18.10% 労務構成比： 78.09% 材料構成比： 3.81% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：据付 基礎砕石の有無：基礎砕石なし				製品質量(kg/基)：50kg以上80kg以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0010

掘削
土砂 5,000m3未満
機械構成比： 44.26% 労務構成比： 36.73% 材料構成比： 19.01% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

オープンカット

施工 第0 -0002号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次：山積0.8m3	44.26%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次		
特殊運転手	36.73%	人		運転手（特殊）		
軽油	19.01%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 押土の有無：押土なし 施工数量：5,000m3未満				施工方法：オープンカット 障害の有無：障害なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0011

運搬（特殊） ダンプトラック：D I D無し

施工 第0 -0003号表

土砂：4 t 積級ダンプ

運搬距離5. 0 k m以下

10

m 3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック（機械損料） 普通 4 t 積級 損耗費別途計上	0.55	供用日			施工 第0-0004号表
タイヤ損耗費（ダンプ） 4 t 良好	0.55	供用日			
軽油	16	L			
一般運転手	0.47	人			
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
土量区分：1箇所当たり運搬量100m3程度 路面状況：良好 積込機械区分：バックホウ山積0. 8 0（平積0. 6 0）			土質区分：土砂 運搬距離（k m）：4.3 運搬状況区分：D I D地区通行しない		

施工内訳表

頁0-0012

ダンプトラック (機械損料)

普通 4 t 積級

損耗費別途計上

施工 第0 -0004号表

供用日 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0013

水田ほ場整備雑物除去

既耕地 (5.0 m³/h a 程度)

施工 第0 -0005号表

1 h a 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0014

石礫除去工

施工 第0 -0006号表

∴ 4 (m³ / 10 a) 未満 0.1 h a 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不整地運搬車（機械賃料） クローラ型油圧ダンプ式2.0t 排対型1次 賃料長期割引有(30日以上)	0.35	日			施工 第0-0007号表
特殊運転手	0.20	人			
軽油	3.60	L			
普通作業員	2.08	人			
合計		h a			0.1ha当たり算出 0.1
*** 単位当り ***	1	h a			
施工区分（石礫除去量）：4 (m ³ / 10 a) 未満			1工事当たり総供用日数区分：30日以上		

施 工 内 訳 表

頁0-0015

不整地運搬車（機械賃料）

施工 第0 -0007号表

クロー型油圧ダンブ°式2.0t 排対型1次

賃料長期割引有(30日以上)

1 目 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0016

ほ場整備工 (0.3ha未満BH施工 基盤・畦畔)

施工 第0 -0008号表

基盤整地

平均区画0.09ha

1 h a 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ(クローラ型) (機械賃料) 山積0.45(平積0.35)m3 排対型3次∴賃料長期割引有(30日以上)	46.92	日			施工 第0-0009号表 基盤整地
特殊運転手	25.78	人			基盤整地
軽油	1,624	L			基盤整地
土木一般世話役	8.00	人			基盤整地
普通作業員	14.20	人			基盤整地
諸雑費	1.00	%			
*** 単位当り ***	1	h a			
作業内容：基盤整地 1工事当たり総供用日数区分 (バックホ)：30日以上			計画平均区画面積 (ha)：0.09		

バックホウ(クローラ型) (機械賃料)

施工 第0 -0009号表

山積0.45(平積0.35)m³

排対型 3 次: 賃料長期割引有(30日以上)

1 目 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0018

積込（ルーズ）

土砂

土量50,000m3未満

施工 第0 -0010号表

1

m 3 当り

機械構成比： 43.43% 労務構成比： 37.88% 材料構成比： 18.69% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2014 \therefore 山積0.8m3	43.43%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2014		
特殊運転手	37.88%	人		運転手（特殊）		
軽油	18.69%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		

施 工 内 訳 表

頁0-0019

運搬（特殊） ダンプトラック：D I D無し

施工 第0 -0011号表

土砂：4 t 積級ダンプ

運搬距離19. 0 k m以下

10

m 3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック（機械損料） 普通 4 t 積級 損耗費別途計上	1.25	供用日			施工 第0-0004号表
タイヤ損耗費（ダンプ） 4 t 良好	1.25	供用日			
軽油	35	L			
一般運転手	1.07	人			
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
土量区分：1箇所当たり運搬量100m3程度 路面状況：良好 積込機械区分：バックホウ山積0. 8 0（平積0. 6 0）			土質区分：土砂 運搬距離（k m）：19 運搬状況区分：D I D地区通行しない		

施 工 内 訳 表

頁0-0020

ほ場整備工 (0.3ha未満BH施工 表土扱い)

施工 第0 -0012号表

表土整地

表土扱い厚 0 cm

1 h a 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ(クローラ型) (機械賃料) 山積0.45(平積0.35)m3 排対型3次∴賃料長期割引有(30日以上)	7.19	日			施工 第0-0009号表 表土整地
特殊運転手	4.06	人			表土整地
軽油	244	L			表土整地
土木一般世話役	2.60	人			表土整地
普通作業員	4.80	人			表土整地
諸雑費	1.00	%			
*** 単位当り ***	1	h a			
作業内容：表土整地 1工事当たり総供用日数区分 (バックホ)：30日以上			計画平均区画面積 (ha)：0.08		

施工内訳表

頁0-0021

盛土 まき出し

粘性土・礫質土

締固めあり コンパクト (I)

施工 第0 -0013号表

10

m 3 当り

[illegible]

畦畔整形工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0014号表

頁0-0022

100 m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ(クローラ型) (機械賃料) 山積0.45(平積0.35)m3法面バケット付 排対型3次∴賃料長期割引有(30日以上)	1.60	日			施工 第0-0015号表
軽油	40	L			
特殊運転手	0.69	人			
土木一般世話役	0.20	人			
普通作業員	0.50	人			
*** 合 計 ***	100	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			
1工事当たり総供用日数区分：30日以上					

施工内訳表

頁0-0023

バックホウ(クローラ型) (機械賃料)

施工 第0 -0015号表

山積0.45(平積0.35)m3法面バケット付

排対型 3 次: 賃料長期割引有(30日以上)

1 目 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0024

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

施工 第0 -0016号表

110mm以上128mm未満

50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比： 2.58%

労務構成比： 57.77%

材料構成比： 39.65%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型∴最大穿孔径 2 5 c m	1.32%	供用日		電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型		
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 賃料	0.78%	日		発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 賃料		
特殊作業員	33.15%	人		特殊作業員		
普通作業員	9.03%	人		普通作業員		
土木一般世話役	4.80%	人		土木一般世話役		
ダイヤモンドビット 1 2 8 . 5 mm スタンダード	37.03%	個		ダイヤモンドビット 1 2 8 . 5 mm		

施 工 内 訳 表

頁0-0025

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

施工 第0 -0016号表

110mm以上128mm未満

50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比： 2.58%

労務構成比： 57.77%

材料構成比： 39.65%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン	2.13%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
削孔径：110mm以上128mm未満 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				削孔深さ：50mm以上200mm未満		

施 工 内 訳 表

頁0-0026

硬質ポリ塩化ビニル管（VU）布設
薄肉管VU 直管（両差し口）4.0m

125mm管

人力

施工 第0 -0017号表

10

m

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質ポリ塩化ビニル管（薄肉管） VU 径125 長4.0m	2.44	本			
雑材料費	2.00	%			
土木一般世話役	0.09	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.19	人			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
管種区分：薄肉管VU 直管（両差し口）4.0m 接合箇所数（箇所／10m）：2			管径区分：125mm管		

施 工 内 訳 表

頁0-0027

コンクリート 小型構造物
一般養生 小型車割増あり
機械構成比： 0.00% 労務構成比： 47.07% 材料構成比： 52.93% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：
夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 18-8-25(W/C=60%以下) 高炉 (BB) 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	29.15%	人		普通作業員		
土木一般世話役	8.50%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	7.20%	人		特殊作業員		
生コン 18-8-25 (20) -BB (W/C=60%以下)	52.93%	m3		生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施 工 内 訳 表

頁0-0028

コンクリート 小型構造物

一般養生 小型車割増あり

機械構成比：0.00%

夜間割増なし 豪雪割増

工種条件と同じ

18-8-25(W/C=60%以下)

高炉 (BB)

1

m 3

当り

労務構成比：47.07%

材料構成比：52.93%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：

施工 第0 -0018号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
構造物種別：小型構造物 養生工の種類：一般養生 コンクリートセメント種類： 高炉 (BB) 生コンクリート小型車割増：小型車割増あり 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				打設工法：人力打設 現場内小運搬の有無：現場内小運搬あり コンクリート規格：18-8-25(W/C=60%以下) 生コンクリート夜間割増：夜間割増なし 費用の内訳：全ての費用		

施 工 内 訳 表

頁0-0029

型枠
一般型枠
機械構成比：0.00%

小型構造物
労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1

第0 -0019号表

m 2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
型わく工	43.77%	人		型わく工		
普通作業員	31.27%	人		普通作業員		
土木一般世話役	11.92%	人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
型枠の種類：一般型枠				構造物の種類：小型構造物		

田排水管設置

施工 第0 -0020号表

頁0-0030

100 m 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0031

敷鉄板設置・撤去工

施工 第0 -0021号表

設置～賃料～撤去：供用106日

：使用回数1回

1000

m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板（リース）	1,000.00	m 2			
敷鉄板整備費	1,000.00	m 2			
特殊作業員	2.90	人			
普通作業員	2.90	人			
バックホウ(クローラ型クレーン機能付)（機械賃料） 山積0.8(平積0.6)m3 2.9t吊 超低騒音排対型3次：賃料長期割引有(30日	3.31	日			施工 第0-0022号表
軽油	345	L			
特殊運転手	2.90	人			
*** 合 計 ***	1,000	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			
施工区分：設置～賃料～撤去 使用回数：1 敷鉄板整備費単価：			供用日数：106 敷鉄板単価： 1工事当たり機械総供用日数区分(BH)：30日以上		

バックホウ(クロー型クレーン機能付) (機械賃料)

施工 第0 -0022号表

山積0.8(平積0.6)m³ 2.9t吊

超低騒音排対型 3 次：賃料長期割引有(30日)

1 目 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0033

輸送費 (敷鉄板)

往復計上 片道輸送距離 20 kmまで

製品長12m以内

施工 第0 -0023号表

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

耕土・畦畔土(良質土)位置図

S=1/50,000

本地区



安曇野市仮置き場

安曇野市仮置場

